

Geokanto2017 実行委員会 第4回委員会 議事録

日 時：平成 29 年 12 月 27 日（水） 16:00～17:05

場 所：地盤工学会地下 A 会議室

出席者：森鼻部会長，浅香，重村，新屋，原，堀越各員，長尾，福原(オブザーバー)，
青木(事務局)，清木(書記)

議 題

1. 第 3 回委員会議事録(案) 資料 01
資料 01 に基づいて、議事録を簡単に確認した。
2. GeoKanto2017 の実施結果および引き継ぎ事項 資料 02-1～02-4
 - ・資料に基づいて、GeoKanto2017 の実施結果を確認した。
 - ・概ね 1 セッションあたり 30 名~40 名の参加者であった。会場の大きさと参加者数の調整が難しい。
 - ・アンケートの回収率が余りよくないないが、宇都宮開催、Web による発表概要集の公開など好意的な回答であった。
 - ・スポンサーへのアンケートは 12/22 に礼状とともに支部事務局から発送していた。今まで(12/27 現在)、半分程度回答が得られた。スポンサーの設定金額など概ね好意的な回答であった。スポンサーが発表する機会を求めるなどの意見が寄せられている。今後集約して公表する。
- 3.引き継ぎ事項 資料 03
 - 3-1 学術部会
 - ・森鼻部会長が、資料 03 に基づいて、引き継ぎ懸念事項を説明した。
 - 3-2 総務部会
 - ・清木が資料 03 に基づいて、引き継ぎ懸念事項を説明した。
 - ・質問および意見交換
 - ・第 1 会場で、朝 1 番のセッションで、PC 上とスクリーンにプロジェクターで投影された色合いに大きな違いがあったことが学生の方から事後に報告を受けた。これはプロジェクターの設定の違いが原因であった。プロジェクターはデフォルトの設定であることが事前に確認されることが望ましい。また、担当の方でもしっか確認、あるいは発表者が ppt の映り具合を事前チェックしていれば、未然に防げていた可能性がある。
 - ・プログラム編成の手順や座長決定の手順について、確認の質問が出た。

- ・留学生が発表時に動画を再生するために、持参した PC をプロジェクターに繋げようとしたが、通常の規格ではなく、プロジェクターに繋がれず苦勞した。原則、会場の PC にデータをコピーして発表をして頂くことになっていたが、上手く伝わらなかった可能性がある。仮に持参の PC を繋げて発表する場合でも、繋げるケーブルの規格は事前に示した方が良い。
- ・申込時のタイトル、執筆者の変更が原稿提出時に変更されるケースが学生に多く見られた。タイトルの変更などを原則一切変更しないということも案であるが、発表と同時の原稿の提出させる方法、原稿提出時の執筆者名やタイトルを投稿者本人が Web 上で更新できるようにするなど方法を検討するのも一案である。投稿スケジュールの可能性と投稿数との関係を検討する、Web を更新する場合は、委員の負担を軽減することとの費用のバランスを検討する
- ・優秀発表者の公表は、12 月上旬頃までに出来れば学生の奨学金申請などに影響がなさそうなので、この時期を目途に公表手続きを進める事を検討する。

3. その他

- ・福原オブザーバーの方から、資料 4 に基づいて次年度の GeoKanto2018 の開催に関する説明が行われた。2018 年 11 月 2 日、国立オリンピック記念青少年総合センターでの開催である。第 1 回目の部会長が集まる時期を年明けに調整する。

以上